

関高校地域研究部 特別発表会

東美濃戦国史

—祖師野八幡宮と信長の野望—



第48回全国高校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024研究発表大会」の「歴史・考古」部門で最優秀賞を受賞した関高校の地域研究部が、その研究の成果を東小学校で発表してくれます！織田信長と祖師野八幡宮には意外なつながりが…！歴史ロマンをお楽しみください！

10月13日(日)

時間 11:00 ~ 11:45

場所 東第一小学校1階

申込み不要。開始時間に直接会場にお越しください。



祖師野八幡宮には、元亀元(1570)年の棟札が残されています。願文には、「武運長久」「国王安穩」と書かれています。いったい誰のための戦勝祈願なのか。また、国王とは誰をさすのか。疑問を抱いた私たちは、許可をいただいて社殿や棟札の調査を行い、その歴史的背景を探りました。私たちは、棟札奉納の背景に、「天下布武」に向けた信長の野望があったと推測しています。なぜ信長が、金山にこだわったのか。今回、私たちの推論を発表します。皆様方のご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

(関高等学校地域研究部)

問合せ 集落支援員 鈴木亘 090-8403-2313